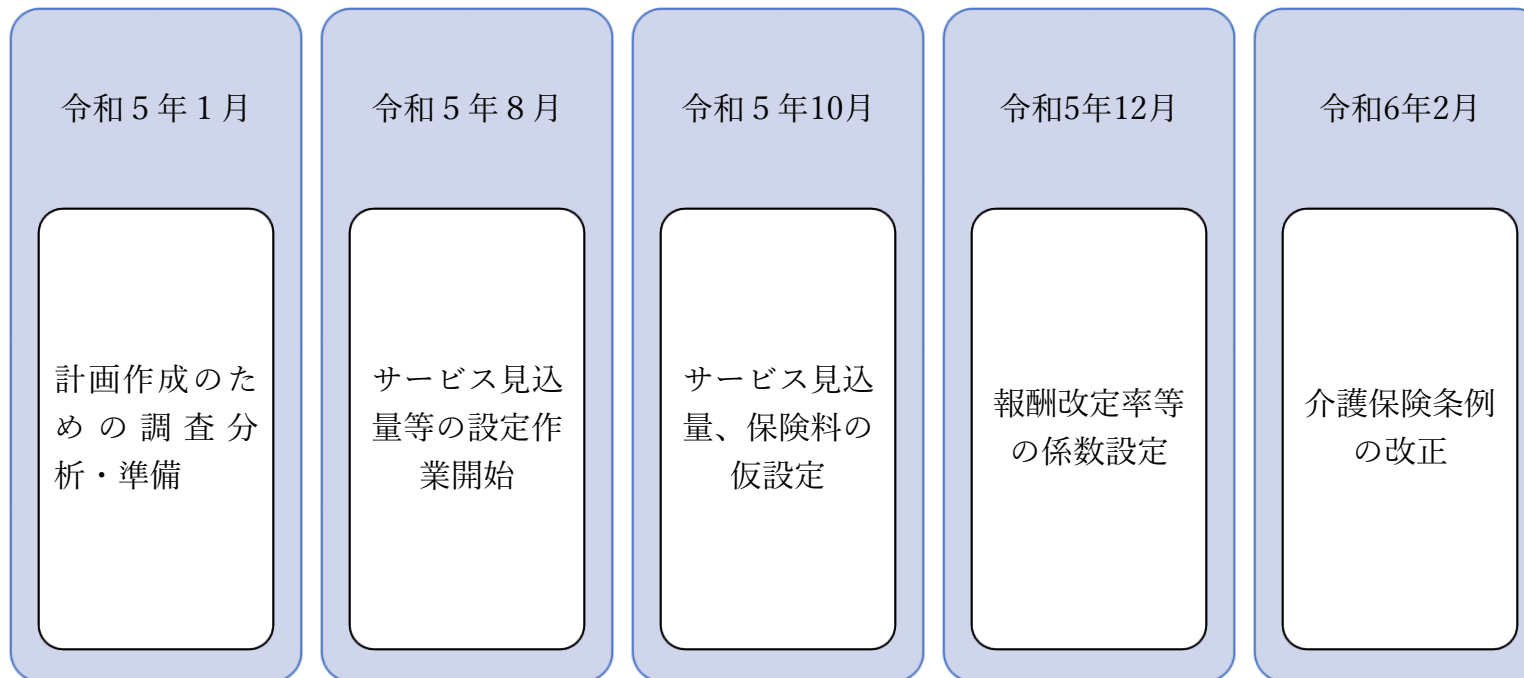


介護保険制度をめぐる動向について

I 第9期介護保険事業計画の作成に向けたスケジュール

出典：社会保障審議会介護保険部会（第106回）



Ⅱ 第9期介護保険事業（支援）計画の基本指針（大臣告示）のポイント

出典：社会保障審議会介護保険部会（第106回）

1. 介護サービス基盤の計画的な整備

地域の実情に応じたサービス基盤の整備

- 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要
- 医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえ、医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化が重要
- 中長期的なサービス需要の見込みをサービス提供事業者を含め、地域関係者と共有し、サービス基盤の整備の在り方を議論することが重要

2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

地域共生社会の実現

- 地域包括ケアシステムは地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るものであり、地域住民を地域づくりや日常生活の自立に向けた支援を担う主体として観念することが重要
- 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を図るとともに、重層的支援体制整備事業において属性や世代を問わない包括的な相談支援等を担うことも期待
- 認知症に関する正しい知識の普及啓発により、認知症への社会の理解を深めることが重要
- 多様な主体による介護予防や日常生活支援のサービスを総合的に実施できるよう、総合事業の充実化を推進

介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための医療・介護情報基盤の整備

- 介護情報を集約し、医療情報とも一体的に運用する情報基盤を国が全国一元的に整備

保険者機能の強化

- 給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化
- 評価指標の見直し・縮減とアウトカムに関する指標の充実

3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上

都道府県主導の下で生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的に推進。介護の経営の協働化・大規模化により、人材や資源を有効に活用。

- 処遇の改善、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、介護職の魅力向上、外国人材の受入れ環境整備など総合的に実施
- 外国人介護人材の介護福祉士資格取得支援等の推進
- 優良事例を横展開
- ワンストップ窓口の設置など総合的な事業者支援
- 各サービスにおける管理者等の常駐等について、必要な検討

介護サービス事業者の財務状況等の見える化を推進

- 財務状況の公表及び一人当たりの賃金等についても公表の対象への追加を検討

Ⅲ その他の主な検討事項

出典：社会保障審議会介護保険部会（第 105 回）

1 号保険料負担の在り方

- 標準段階の多段階化、高所得者の標準乗率の引上げ、低所得者の標準乗率の引下げ等について検討

「現役並み所得」、「一定以上所得」の判断基準

- 一定以上所得の判断基準の見直し

補足給付に関する給付の在り方

- 引き続き検討

多床室の室料負担

- 介護老人保健施設及び介護医療院の多床室の室料負担の導入について、介護報酬の設定等も含めた検討

ケアマネジメントに関する給付の在り方

- 第 10 期計画期間の開始までの間に結論を出すことが適当

○軽度者への生活援助サービス等に関する給付の在り方

- 第 10 期計画期間の開始までの間に結論を出すことが適当

被保険者範囲・受給者範囲

- 引き続き検討

福祉用具

- 福祉用具貸与・販売種目の在り方や福祉用具の安全な利用の促進等について、引き続き検討